



# とっとり SDGs 企業認証 認証事業者申請内容



事業者名

株式会社ケイズ

所在地

鳥取県米子市両三柳 2864-16

代表者

代表取締役社長 松本 啓

業種

情報通信業

事業概要

- ・自治体／文教／医療／製造／流通業などのシステム販売、ソフトウェア開発
- ・情報システムのハード／ソフトの関連機器販売、性能管理、維持業務
- ・ネットワーク設計／構築、セキュリティ設計／構築／監視
- ・アウトソーシング（ハウジング／ホスティングなど）

## <2030 年に目指す姿>

ITサービス（ハードウェア、ソフトウェア）の提供を通し、企業・自治体などのお客様が抱えておられる課題問題を解決し、お客様の業務改善・事業の成長・社会インフラの整備などを実現することで、地域の成長及びそこで暮らす人々の生活をより豊かに・より便利にすることを目指します。また、事業を通して社会・経済・環境への取組を常に実感することで、仕事へのやりがい・感動を持って従業員が働ける企業を目指します。

1. 地域の企業様・自治体様の課題・ニーズに対し、システム開発・先進テクノロジーにより課題解決に取り組むことで、地域経済の持続的な成長に貢献します。
  - ・企業が抱える課題問題をシステム開発・先進テクノロジーにより解決することで、生産性向上・省力化・効率化、営業サポートを行い、企業の成長や職場環境改善を実現いたします。
  - ・行政業務のシステムの高度化を提供することで、現場の業務改善を実現するとともに、住民の方がより迅速かつ快適に利用できる行政窓口を目指します。
2. 地域の生態系保護を目的に、ISO14001を取得し、環境保全活動に取組み、地域環境の維持に貢献します。
  - ・自然豊かな住みよい地域を維持するため、自然保護の活動を社員と共に取り組みます。
3. 交通事故削減の取組により、安心・安全な地域社会の実現を目指します。
4. 全ての社員の働きがいの向上と家族の豊かな生活の実現のため、仕事の能力を最大限発揮できる環境を整えるとともに、雇用維持に努めます。
  - ・ワークライフバランス実現のため休暇の取りやすい労働環境整備を行うとともに、賃金の地域格差改善に努め地元での就職希望を増加させる。また、資格取得等社内教育を実践することで社員の能力向上を行います。

## <目指す姿の実現に向けた重点的な取組>

社会1：労働災害の防止

社会8：社会配慮型商品・サービスの提供

経済8：デジタル化による生産性向上

経済9：雇用の維持・拡大

経済10：人材育成・能力開発

環境10：環境面での社会貢献

### <重点的な取組推進時のインパクト（正の影響、負の影響）の分析・考察>

#### 1. システム開発・先進テクノロジーによる課題解決への取り組み

社会8の「自治体窓口の利便性向上」は、自治体の業務効率化、住民への行政サービス・利便性向上を、システム開発によりご支援するなど、地域社会の維持・発展のためのご提案を行っている。

経済8の「IT活用による業務効率化・付加価値提供」は、学校（授業支援・教職員支援・機器整備）や、病院（院内情報共有や待ち時間短縮）、民間企業への業務効率化等のご支援をシステム開発という側面から行っている。お客様には、地方の中小企業様も多く、課題解決のご支援を行う事は、地域経済の持続的な成長に貢献している。

上記取組の中で、お客様の情報資産を当社データセンターで集約管理すると、全体としての環境負荷は小さくなる。一方当社単体では、集約管理を進めるための設備投資等により、環境負荷、設備維持コストの上昇につながる。

#### 2. 環境保全活動への取り組み

環境10の「Jクレジット」は、その売上が日南町で行う森林育成活動、森林教育活動などに貢献している。一方、排出枠の購入だけの取り組みでは、当社での自助努力によるCO2削減がおおそかになる可能性もある。環境保全に対する会社の姿勢を社員に積極的周知し、環境保全活動への参画意識を醸造する活動も並行して行っていく。当社のCO2排出要因の多くは社有車と考えられるため、環境3、4についても並行して検討が必要と認識している。

#### 3. 交通事故削減

社会1の「交通事故、違反ゼロを目指す」では、安全運転啓発・表彰、社有車への安全装置導入などを順次行っている。事故違反の減少に貢献する一方、安全装置導入については社有車保有コストの上昇につながる。

#### 4. 仕事の能力を最大限発揮できる環境整備、雇用維持

経済9、10の取り組みにより、社員の能力向上と雇用維持・拡大を図っているが、急激な採用者数増加は、若手社員に対する教育指導負担増加、業務効率低下が伴うため、状況を見ながら取り組みを行っていく必要がある。

## 社会(1/2) : 株式会社ケイズ

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
<b>労働災害の防止</b>	<p>【主な取組】(ゴール3) 交通事故、違反ゼロの社会実現のため、以下取組を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①運転等に関する社内啓発(月に1, 2回)</li> <li>②プライベート含め、違反、事故の社内報告、違反者の運転制限</li> <li>③3年以上無事故、無違反者に表彰金支給(年1回)</li> <li>④セーフティラリー取組(年1回程度)</li> <li>⑤社有車64台(84台中)への事故防止装置導入(車両入替時に適時)</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】 業務上の交通事故、違反件数が全拠点含め15件以下(2025年6月)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 現在の取組により安全の意識付けは図られたが、毎年20件弱と未だゼロに至っていない。現在の取組は継続の上、以下の新たな取組を検討し実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①リモート商談整備により営業車両利用削減</li> <li>②新人と2年以内事故違反者を対象に交通研修検討(年1回)</li> <li>③計画的に社有車への安全装置の設置を図る</li> </ul>
<b>ハラスメントの防止</b>	<p>【主な取組】(ゴール5) 社内規定整備と社員教育(2021年11月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①就業規則整備及び社員への周知</li> <li>②相談窓口設置</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】 ハラスメントに起因する退職、相談等が引き続きゼロ</p> <p>【目標達成に向けた取組】 今後もゼロを継続するため、現在の取り組みを引き続き行っていく。また、新たな取組として以下の検討も行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①未然防止のための社内広報(イントラ掲示)</li> <li>②社員教育など</li> <li>③相談しやすい環境整備検討(相談専用メール等)</li> </ul>
<b>多様な人材の活躍</b>	<p>【主な取組】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の就労機会の拡大(ゴール8、10) ・経験者(50才以上)の中途採用</li> <li>2. 地域賃金格差是正のため、定期昇給、ベースアップを実現し、多様な人材の活躍機会を提供する。(ゴール10) <ul style="list-style-type: none"> <li>①2017年以降ほぼ毎年ベースアップ実施</li> <li>②中途採用の雇用条件は、経験・スキル等総合判断し、柔軟対応</li> <li>③新卒採用者の増加(中途・新卒合わせ、毎年10名程度採用)</li> </ul> </li> </ol>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①経験者(50才以上)を毎年1名程度採用</li> <li>②中途、新卒合わせ、毎年15~20名程度採用</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①定期的に社会情勢を勘案しベースアップを実施</li> <li>②営業基盤拡充し、採用増加を図る。</li> </ul> <p>AI、IoTを活用したDXの分野や、サイバーセキュリティ事業を中心に拡大を図る。</p>
<b>多様な働き方の促進</b>	<p>【主な取組】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 有給休暇を取得しやすい体制作り(ゴール8) <ul style="list-style-type: none"> <li>①夏期休暇(連続4日間(土日含む))の制定</li> <li>②半日有給休暇の制定(2019年12月)</li> </ul> </li> <li>2. 健康経営の促進(ゴール3) <ul style="list-style-type: none"> <li>①就業時間内での健康診断・人間ドック受診による受診率改善</li> <li>②人間ドック受診料補助、定期健康診断費用の会社負担</li> </ul> </li> <li>3. リモート勤務の環境整備(ゴール8) 在宅勤務規定整備(2020年7月)</li> </ol>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①有給休暇の平均取得日数11日以上(毎年)</li> <li>②人間ドック受診料一部補助の継続(毎年)</li> <li>③外国人労働者(専門職)の雇用を1名以上(2025年中)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①社内システム入替による、業務改善、生産性向上(2023年中)</li> <li>②従業員が、予め有給休暇取得計画を作成し、管理本部と所属部署で取得状況を把握することで取得促進を図る</li> <li>③各種ワクチン接種等の補助制度検討</li> <li>④外国人労働者(専門職)の雇用受入れ</li> </ul>

## 社会(2/2) : 株式会社ケイズ

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
<b>労働者への人権配慮</b>	<p>【主な取組】</p> <p>①就業規則内に、社員の行動規範として人権尊重や懲戒対象である事を明記し社内イントラで公開している。新規採用者の入社時には意識啓発の説明を行っている。</p> <p>②管理本部長等が、定期的にも人権関連セミナーに参加し意識啓発を行っている(毎年1回以上)</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>人権関連のトラブル発生が引き続きゼロ</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>今後も継続的な、意識啓発を行っていく。 日々情報収集(メディア、SNSや各種加入団体を通じて情報にアンテナを張る)を行い、人権問題を抱える企業との取引を見合わせる。</p>
<b>社会配慮型商品・サービスの提供</b>	<p>【主な取組】</p> <p>1. 農業継承者不足や収益の安定化を解決することを事業目的としており、篤農家の生育技術・ノウハウをデータ化することで、個人の勤や経験に頼らない育成方法を確立させる研究開発を行っている。 ・農業PJ9団体(研究開発のための協力団体)</p> <p>2. 住民が住み続けられるまちづくりの一環として、自治体窓口の利便性向上をサポート(ゴール 11) ・スマート窓口の導入</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>農家様の収益向上とスマート農業の社会実装を図るため、3年以内に農業支援システムのサービス提供開始を目指す。</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>農家様の収益向上を助ける製品開発を目指し、現在はそのためのデータ収集及びマーケティング段階。今後は、協力団体と密に連携し、アジャイル方式での開発体制とする。</p>
<b>地産地消</b>	<p>【主な取組】</p> <p>経営方針に「地域密着と地域貢献」を掲げ企業経営を行っている。(ゴール 11)</p> <p>①設備更新時の地元企業への発注 ②事業用消費財を地元企業へ発注 ・設備維持、修繕 ・社員の誕生日にケーキ等配布</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>設備更新時・事業用消費財については、地元企業発注を第一として実施する。 また、当社事業においても、システム開発プロジェクトを地元外注と共存した体制を整備し取り組んで行く。 1. 地元システム会社との協働体制の構築 2. 地元システム会社との共同プロジェクト実現</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>山陰外で当社が受注した案件を、地域のシステム会社と協力して開発を行う等も含め、地域企業への発注、利用により、域内における良好なつながりを構築し、共存共栄を図る。</p>
<b>地域社会への貢献</b>	<p>【主な取組】</p> <p>地域団体等への協賛、イベントへの社員参加等により、地域活性化の支援をしている。(ゴール 11)</p> <p>①地元スポーツ支援 ・ガイナーレ鳥取協賛金 ・皆生トリアスロンボランティア参加 ②地元交流イベントへの参加 ・米子がいな祭り参加、協賛</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>地域社会を豊かにするまた、活性化するイベントに対し、毎年1つ以上の協賛金を継続実施する</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>地域イベントへの各種協賛等を引き続き検討していく。また、協賛や寄付状況を社内広報することで、社員の社会貢献意識の向上を図る。</p>
<b>プラスワン【質の高い教育機会の提供】</b>	<p>【主な取組】</p> <p>質の高い教育機会を提供するため、当社へ入社意思があり学費補助を希望する学生(修士・博士課程)に対し、当社独自の奨学金制度(学費補助)(ゴール 4)</p> <p>・2018年制度創設。 ・2020年制度拡充(博士課程以上→修士課程以上へ、鳥取大学生のみ→鳥取大、島根大学生)</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>3~5名を上限に募集を継続する。</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>①引続き大学・学生に対して周知を進め、教育機会の提供を図っていく。 ②現在は鳥取大、島根大学に限定しているが、今後は応募状況等を鑑みて山陰以外の大学も対象としていく。  ③社会人ドクター支援制度の導入検討</p>

## 経済(1/2) : 株式会社ケイズ

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
<b>事業継続計画(BCP)の策定</b>	<p>【主な取組】(ゴール 11)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大を受け、感染症流行にかかるとの対応計画策定運用</li> <li>・災害発生時対策マニュアル(社内及び顧客対応)の整備運用</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>現在、自然災害発生時、感染症発生時と個別に策定運用している各種対応計画を、BCPとして体系化し文書化する。(2025年度中を目途)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>事業継続に必要な項目のさらなる洗い出しと、マニュアル整備。</p>
<b>セキュリティ対策</b>	<p>【主な取組】</p> <p>1. 自社のセキュリティ対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティ(ISO27001)取得</li> <li>・プライバシーマーク(JISQ15001)取得</li> </ul> <p>社内教育訓練規定に則り、当社の情報セキュリティで求められる役割・責任を認識し、遂行させるため、また、個人情報保護の必要性、重要性を認識し、適切な取扱いを行わせるために社員教育を実施している。(ゴール 9)</p> <p>2. 社内、取引先へのセキュリティ対策</p> <p>Ks-EDR サービス(PC、サーバのリアルタイムセキュリティ監視サービス)により、異常状態の早期検知、対処を行い、自社ならびにお客様のセキュリティレベル向上、セキュリティ運用負担軽減を提供しお客様の事業持続性をサポートしている (ゴール 9)</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>①各種認証の継続取得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品質維持のため外部機関による1年毎の「維持審査」、3年に1回の「更新審査」</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>①引き続き、ISOならびにプライバシーマーク認証活動を通し、社員教育、リスク評価、対応のPDCAサイクルを回し維持活動を実施して行く。</p> <p>②営業活動を通し、セキュリティ監視サービス顧客拡大を図り、お客様の事業継続性をサポートする。</p> <p>③ドアロック(顔認証、ICカードによる解錠)など、物理的な設備の維持を継続していく。</p>
<b>法令順守の取組の徹底</b>	<p>【主な取組】</p> <p>①社員に対し、法令順守教育の徹底と規則、ルールの策定(ゴール 8, 11)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就業規則に明記し、社内徹底</li> <li>・入社時研修、4年目社員研修での教育</li> </ul> <p>②ハラスメント(セクハラ・マタハラ・パワハラ)に関する内部通報相談窓口設置。</p> <p>③顧問弁護士、税理士、社労士との契約及び相談</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>法律に反する事象の発生が引き続きゼロ</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>①定期的にコンプライアンス研修の内容を見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不正等未然防止のための社員啓発(イントラ掲載周知、管理職向けの研修など)の検討。</li> </ul> <p>②内部通報制度等新たな仕組み構築の検討を行う。</p>
<b>情報公開</b>	<p>【主な取組】</p> <p>ホームページ、会社パンフレット等を通し、事業内容の積極的開示を行っている。(ゴール 16)</p> <p>①就職希望者への人事情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自社の就職専用サイトを開設。随時更新し情報提供を行っている(2022年3月更新)</li> <li>・他社の就職情報サイト(リクナビなど)に情報公開(毎年)</li> </ul> <p>②情報公開ツール充実を図るため、ホームページリニューアルに着手</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>会社ホームページのリニューアル(2023年中)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>①企業情報・採用情報等の積極的開示を目指し、ホームページリニューアルを検討する。</p> <p>②会社パンフレット等も適宜改訂</p>

## 経済(2/2) : 株式会社ケイズ

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
自社以外の 経営資源活 用	<p>【主な取組】</p> <p>取引先企業へシステム開発を通し、新たな付加価値提供の為、外部経営資源も活用している(ゴール 8, 9)</p> <p>①外部エンジニア(システム共同開発、セキュリティ監視サービス提携など)の活用(随時)</p> <p>②毎年、社内人材育成のため外部講師を活用し、階層別研修(1、2、4、8年目)を実施。</p> <p>③鳥取大学などへの技術相談(随時)</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>②外部講師を活用した社員研修を実施する(毎年)</p> <p>③大学との共同研究の再開(2025年中)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>②人材育成において、外部講師を今後も活用していく。</p> <p>③新たな研究テーマの模索</p>
デジタル化 による生産 性向上	<p>【主な取組】</p> <p>&lt;事業&gt;(ゴール 9)</p> <p>1. ITを活用し企業、自治体等の問題解決を図ること、新たな付加価値提供を行っている。</p> <p>2. 製造業界の働きやすい現場環境構築や、生産性向上を支援するためのサービスを開発。(ゴール 8)</p> <p>①機械稼働状況のデータ化</p> <p>②労働現場のモニタリング (サービス開始:2022年1月)</p> <p>&lt;社内&gt;(ゴール 9)</p> <p>1. リモート環境整備し、出張などの移動時間を削減することで、生産性向上を図っている。</p> <p>・各拠点にオンライン会議用の設備、会議室</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>②製造業生産性向上支援は、3年以内に社内のサービス提供体制を強化し、導入企業の増加を目標とする。</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例集サイト</li> <li>・展示セミナーの開催</li> <li>・IoTメーカー連携</li> </ul> <p>③自社内で使用する基幹システム入替(2023年中)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>①引き続き、事業を通し地域の持続可能な経済成長を目指すための提案を実行していく。</p> <p>②展示セミナーを随時開催し営業効率の良い拡販を進める。並行して、マーケティングや提供先へのヒアリングを行い、サービス機能の拡販を検討。サービスのアップデートに取組む。</p> <p>③自社内で使用する基幹システム入替により、業務改善、生産性向上を図る</p>
雇用の維持・ 拡大	<p>【主な取組】(ゴール 8)</p> <p>1. 以下による新卒者に対する雇用機会の創出</p> <p>①1day 仕事体験を夏と冬に実施(昨年)</p> <p>②5年連続で初任給引上げを実施。</p> <p>③当社独自の奨学金制度制定、拡充など</p> <p>2. 新事業展開(セキュリティ、DX推進等)による新たな活躍の機会を創出し、営業職、エンジニア職、研究職など雇用拡大を常に行っている。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>毎年15名(新卒・中途)程度の採用</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>①新卒採用:仕事体験実施、山陰以外での説明会実施、大学研究室との関係強化、独自の奨学金制度、賃上げの検討。</p> <p>②中途採用:中途向け採用イベントへの参加。</p> <p>③営業エリア拡大・エリア浸透度による事業拡大と新分野への投資を継続的に行うことで、雇用拡大を実現する。</p>
人材育成・能 力開発	<p>【主な取組】(ゴール 4、8)</p> <p>1. 社員の成長と国際感覚を養うため、英語講師を採用し、社内英会話教室を開催。(受講者数:現在63名)</p> <p>2. 事業成長の礎となる社員の育成強化に取組む。</p> <p>①階層別研修(1、2、4、8年目)を毎年実施</p> <p>②資格取得者に対する報奨金、補助制度</p> <p>③社内、社外での研修費用補助</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>①社員の1割がビジネス英会話をできる状態を目指す。(2028年3月)</p> <p>②能力開発に関する研修、補助を引き続き行い、継続的な社員への成長機会を維持創出する。</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>①当社独自のカリキュラムによる研修、外部ネイティブ講師活用を行う。</p> <p>②資格取得に対する補助/報奨金/資格手当等優遇、eラーニング費用負担、外部研修会社講師の活用の継続。</p> <p>③新たにマネジメント等の人材教育の検討を行う</p>

## 環境(1/2) : 株式会社ケイズ

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
<b>気候変動リスク／環境負荷リスク・機会の分析・対策</b>		
<b>自然環境の変化が経営にもたらす影響</b>	<p>【リスク・機会の分析】(ゴール 13) 台風等の自然災害の増加は、倒壊、水没、雷によるデータ障害などの発生で業務が行えなくなるリスクのほか、提供するサービス停止、データ消失など、顧客へ多大な損害を与える可能性もある。</p> <p>【分析に基づく主な取組】 自然災害にも堅牢なデータセンターを建設し、お客様の事業継続を支えるサービスを提供している。 ・水害対策(地上より1m床上げ) ・避雷抑制システムの導入ならびに静電気対策 ・地震対策(震度7以上に耐える高耐震性) ・火災対策(煙感知センサー、窒素ガス消火設備)</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 ・当社データセンターならびに、複数のサブセンターにおいてデータバックアップを行う。 ・データセンターは定期的な設備点検により、必要となる各種機能が維持出来る様に維持作業を継続的に実施する。</p> <p>【目標達成に向けた取組】 災害時に機能が正常に発揮できる様にするため、定期点検、機能試験、修繕作業により維持活動を実施する。</p> <p>・各種設備の冗長化により災害時の機能停止(通信断、電力供給断など)に備える(設備冗長化、回線冗長化、バックアップ電源確保、発電用重油の優先供給体制構築)</p>
<b>自社の事業活動が引き起こす影響</b>	<p>【リスク・機会の分析】 山陰を拠点とする当社では、事業を営む上で営業車両は必要不可欠であるが、事業規模拡大に伴い、車の使用頻度が増加し、大気汚染につながる可能性がある。</p> <p>【分析に基づく主な取組】 営業車両のHV(ハイブリッド)への転換(現在までに順次11台(全車両の13%)をHVへ変更)</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 2025.6までに、更に10台程度をHVへ変更</p> <p>【目標達成に向けた取組】 ・ガソリン普通車は、リースアップのタイミングでHV、EVへの変更を検討する。</p>

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
<b>カーボンニュートラル</b>		
<b>&lt;省エネ&gt; 燃料消費量の削減</b>	<p>&lt;KPI&gt; CO2 排出量 87t-CO2/年(2021年6月時点) ↑鳥取県内の私有車(全社保有数の約60%)のガソリン消費量。</p> <p>【主な取組】 ①鳥取県内拠点での私有車ガソリン消費量の把握 ②公共交通機関利用推進、HVへの変更、リモート商談環境整備など。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 &lt;KPI&gt; CO2 排出量 87t-CO2/年を今後も維持 ↑2020年度の水準の維持</p> <p>【目標達成に向けた取組】 ①他拠点も含めたガソリン消費量の把握 ②ガソリン消費量87tは、コロナ禍で例年よりも少ない数字であり、さらに今後事業領域拡大、社員数増を計画しており、営業活動で車は必須であるなか、今後は、公共交通機関利用推進、HVへの変更検討、リモート商談環境整備などにより、現状数値の維持を目指す。</p>

## 環境(2/2) : 株式会社ケイズ

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
<b>水資源の適正な管理</b>	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水使用量の把握(本社)、全てのトイレを節水式へ。</li> <li>2018.7~ 87.6 m<sup>3</sup>/月</li> <li>→ 2019.7~ 66.3 m<sup>3</sup>/月</li> <li>→ 2020.7~ 58.3 m<sup>3</sup>/月</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>2020年の本社での使用量に対し、10%削減(2025年度)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①社内啓発の検討と実施</li> <li>・洗い物時の出しっぱなし防止 ポスター、呼びかけによる周知</li> <li>・蛇口用シャワーヘッドの導入など節水設備検討など</li> </ul>
<b>環境配慮型商品・サービスの提供</b>	<p>【主な取組】(ゴール 11)</p> <p>事業活動を通し、環境配慮型商品サービスを積極的に取引先へ提案し、環境への取組を取引先にも促していく。</p> <p>&lt;具体的事例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ペーパーレスを実現するシステム提案</li> <li>② データセンターでお客様の情報資産を集約し、クラウド化、マルチテナントシステム化を実施することにより、お客様各社が個別に環境整備することに比べ電力量を削減する。</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①紙資源の削減に寄与するシステム導入ユーザーを継続的に拡大</li> <li>②継続的なクラウド化推進による、消費電力量の削減</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①自社開発ソフトの提供だけではなく、他社システムの提案など、幅広いソリューション手段を以って、業務改善提案を一層行っていく事で、紙削減など「環境への配慮」に寄与する。</li> <li>②データセンターについて、当社クラウドサービスにより各企業が個別に環境準備する必要がなくなり、機器集約することで必要電力量を削減する。</li> </ul>
<b>環境面での社会貢献</b>	<p>【主な取組】(ゴール 13)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①日南町有林Jクレジットの購入によるカーボンオフセットの実施(2021年6月 100t購入)(累計600t)</li> <li>②清掃活動の実施(ゴール 14、15) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラムサール条約登録湿地「中海」の湖岸清掃(年3回)</li> <li>・米子卸団地清掃(年1回)</li> </ul> </li> </ul> <p>(コロナの影響以前は40~50名程度が参加)</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①今後も毎年一定量の購入を継続する</li> <li>②清掃活動年4回実施(毎年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①排出枠購入を継続する</li> <li>②社員が参加しやすい環境を整え、参加意義の周知などを図りながら、引き続き実施していく。</li> </ul>